

TANITA®

健康をはかる

取扱説明書

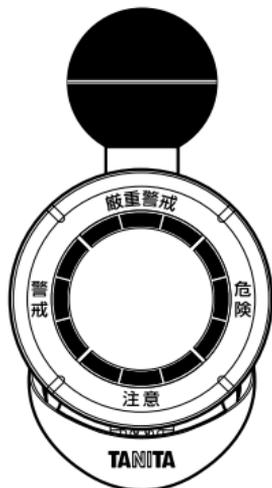
保証書付

黒球式熱中症指数計 熱中アラーム TT-560

本製品の監修：星 秋夫 教授(医学博士)

熱中症注意レベルの典拠：

日常生活における熱中症予防指針(日本生気象学会)



※本書に記載されているイラストはイメージです。

もくじ

●TT-560について/本器で正確に測るために	1
●熱中症について	2
●熱中症予防指針(日本生気象学会出典)	3
●熱中症予防のための水分補給について	4
●安全上のご注意	5
●取り扱い、保管、お手入れについて	5
●初めてご使用になる前に	6
●各部の名称	6
●電池を入れる	7
●アフターサービスについて	8
●保証書	9
●使い方.1 表示の見方/WBGTについて	10
●使い方.2 吊り下げ用アタッチメントの取付方法	11
●取り扱い上のご注意と使用方法	12
●熱中症予防指針と警告アラームの種類	13
●警告アラームの音量切替方法	13
●電源OFFの方法	14
●電池を交換する	14
●測定範囲外の表示について	15
●吊り下げ用アタッチメントの交換方法	15
●主な仕様	16
●こんな時は	17

お願い

本器は誤った使い方をしますと、重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

TT-560について

・屋外でも屋内でも使用可能

普通の温度計では、日射や地面からの照り返しによる熱(輻射熱:ふくしゃねつ)を測定できません。そのため炎天下では正確なWBGT(湿球黒球温度(本書P.10参照))が求められません。

本器は黒球を搭載して熱中症発症にかかわる要因の日射や輻射熱を測定しているため、屋内外問わず炎天下でもご使用いただけます。

・4種類の警告アラーム音で、注意レベルをお知らせ

電源ON後、WBGT20℃以上の場合、10分間隔でWBGTの値に応じた注意レベルの警告アラーム音が鳴ります。(本書P.13参照)

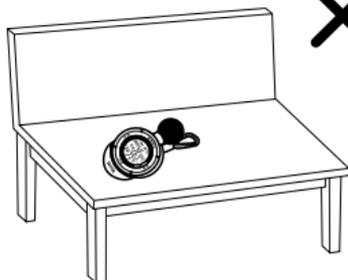
・電源OFF機能付き

使用しないときは電源をOFFすることができ、節電になります。(本書P.14参照)

本器で正確に測るために

・屋内ではフックなどに吊り下げてご使用ください。また、屋外(日射時)では首または腰、リュックサックなどに吊り下げ、なるべく黒球が陰にならないようにしてご使用ください。

・ベンチの上や地面(コンクリートや芝生の上など)に直に置いたままでのご使用はしないでください。
※照り返しの影響で気温は通常より高くなり、湿度は逆に低くなって、正しいWBGTの計算ができません。



熱中症について



熱中症発症に関わる要因は、気温や湿度だけでなく、日射・地面からの照返しによる熱(輻射熱: ぶくしゃねつ)も関係しています。日射や地面からの照返しは、普通の温度計では測定できず、黒球を使った温度測定が必要とされています。本器は、黒球を搭載しているため、地面の状態や身長の違いによる局所的な暑熱環境を正確に測定できます。

■特にこんな人は熱中症に注意

●65歳以上の人、特に75歳以上の人

汗の量、のどの渇きなど、体温調整機能が低下するため発症しやすい。

●幼児・学童

体温調節機能が未発達で、水分・塩分補給が不適切になると発症しやすくなります。また、乳幼児の自動車内放置事故による熱中症が多発しています。停車中の自動車では、車内の温度は数分で40℃以上になることがあります。エンジンをかけ、クーラーをつけていても、何かの拍子で効かなくなることもあるので、季節にかかわらず、短時間であっても、絶対に車内に子どもだけを残さないことが大切です。

●肥満者

体温が上昇しやすい傾向にあるため発症しやすい。

●農作業、安全対策作業等で、厚着や安全服等で全身を覆う場合

●仕事や運動(スポーツ)で無理をしすぎる人、頑張りすぎる人

●発熱、下痢、二日酔い等、体調不良の場合

●基礎疾患のある人、寝たきりの人

高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など

●熱中症の発症を助長するような薬を服用している人

発汗を抑えることのある薬(鎮痙薬*、頻尿治療薬*、パーキンソン病治療薬*、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調整薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬など抗コリン作用のある薬)は発汗抑制を来す可能性があります。利尿剤は脱水を来たしやすく、興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させます。多くの抗精神病薬*は体温調整中枢を抑制する可能性があります。

※医薬品添付文書に「発汗(あるいは体温調節中枢)が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」と記載のあるもの。

●急激に高温となった場合

暑さに慣れていないときは、特に注意が必要です。例えば、6月以前に気温が上がった時や、暑い地方へ旅行をする場合などは注意が必要です。

熱中症予防指針(日本生気象学会出典)

●日常生活における熱中症予防指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28~31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28℃)	中等度以上の生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

●注意すべき生活活動強度の目安

軽い	中等度	強い
(RMR : 2.5未満) (3.0METs未満) (250kcal/h未満) (290W未満)	(RMR : 2.5~6.0) (3.0~6.5METs) (250~490kcal/h) (290~570W)	(RMR : 6.0以上) (6.5METs以上) (490kcal/h以上) (570W以上)
休息・談話 食事・身の回り 楽器演奏 裁縫(縫い、ミシンかけ) 自動車運転 机上事務 乗物(電車・バス立位) 洗濯 手洗い、洗顔、歯磨き 炊事(料理・かたづけ) 買い物 掃除(電気掃除機) 散歩/分速60~70m 家庭菜園、草むしり 体操(軽め) 入浴 ゲートボール*	自転車(平地) /時速10~15km 歩行/分速80~100m 掃除(はく・ふく) 布団あげおろし 体操(強め) 階段昇降 ウォーキング/ /分速100~120m 床磨き 垣根の刈り込み 芝刈り ゴルフ* 野球*	ジョギング サッカー テニス 自転車(登り) /時速10km リズム体操 卓球 バドミントン 登山 剣道 水泳(平泳) バスケットボール 縄跳び マラソン

(伊藤編、現代生活と保健衛生 2002 第4版を参照)

*野球やゴルフ、ゲートボールは活動強度は低いけど運動時間が長いので要注意

RMR (Relative metabolic rate) : エネルギー代謝率と呼ばれ、活動に要したエネルギー量の基礎代謝量に対する比率を表わす。METs (Metabolic equivalent) : 代謝当量と呼ばれ、活動に要したエネルギー量の安静時代謝量に対する比率を表わす。kcal/h : 1時間あたりの消費エネルギー量。W(ワット) : 活動に要したエネルギー量。

熱中症予防のための水分補給について

●どんなものを飲むか。

摂取する飲料の組成としては0.1～0.2%の食塩水またはナトリウム40mg～80mg/100mlのスポーツドリンクを20分～30分ごとにカップ1～2杯程度を摂取することが望ましいです。

一方、飲物の温度は5℃～15℃が望ましく、冷たい方が胃から小腸への移動が速く、また、冷水による物理的な冷却効果も期待できます。

●どれくらい飲むか。

人の身体からは、発汗だけでなく、呼吸によっても意識されずに水分が蒸発します。

よって、日中はコップ半分程度の水分を定期的に(1時間に1回程度)補給しましょう。

のどの渇きを感じる前に水分補給を心がける習慣をつけましょう。特に高齢者はのどの渇きを感じにくくなっているため、十分注意する必要があります。速く、また、冷水による物理的な冷却効果も期待できます。

●こんなときにも忘れずに。

①睡眠時

寝ている間も呼吸や汗によって水分は失われます。就寝前と起床時にコップ1杯(約200ml)の水分補給をしましょう。

②飲酒時

アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上に水分を排泄するので、飲酒後は水分を十分補給しましょう。

③入浴時

入浴時は思ったよりもたくさん汗をかきます。入浴前後にコップ1杯(約200ml)の水分を補給しましょう。

④エアコンの部屋

エアコンを使うと室内の空気が乾燥しますので、気がつかないうちに脱水が生じます。こまめに水分補給しましょう。

※「熱中症について」「熱中症予防指針」「熱中症予防のための水分補給について」は日本生気象学会の「日常生活時の熱中症予防指針 Ver.1」から抜粋しています。

安全上のご注意

この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防止するためにいろいろな絵表示で説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性のある」内容です。		
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険または物的損害が発生する危険が想定される」内容です。		
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。
お願い	製品を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。		

警告

本器は、熱中症を予防できる製品ではありません。ご使用に当たっては、本器の特性をご理解の上、あくまで熱中症対策のための目安としてください。

なお、精度の誤差などによる二次災害については、弊社では一切の責任は負えませんのでご了承ください。

- | | |
|--|---|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">●電池や製品を乳幼児の手の届くところにおかない
→誤飲の可能性があります。●電池は火中に投じない
→破裂してけがをする可能性があります。 |
|--|---|



取り扱い、保管、お手入れについて

■取り扱い、保管について

- | | |
|--|--|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">●絶対に分解しない●過度の衝撃や振動を与えない
→故障の原因になります。 |
|  必ず守る | <ul style="list-style-type: none">●カラビナなどを持って振り回したりしない
→当たってけがをする可能性があります。
→破損する可能性があります。●防水ではないので、湿気が多い所や水のかかる所に保管しない
→故障の原因になります。 |

■お手入れについて

- | | |
|--|---|
|  必ず守る | <ul style="list-style-type: none">●アルコールや熱湯、シンナーやベンジンなどは使用しない
→故障や部品の割れ・変色などのおそれがあります。
本体の汚れは柔らかい布で拭いてください。 |
|--|---|

初めてご使用になる前に

表示画面に貼られている表示保護シールをはがしてください

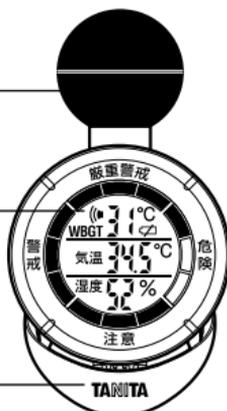
各部の名称

〈表面〉

黒球

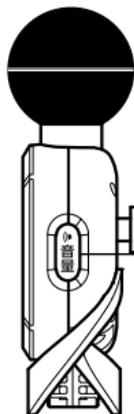
表示部

センサーカバー



〈側面〉

音量切替
キー



〈裏面〉

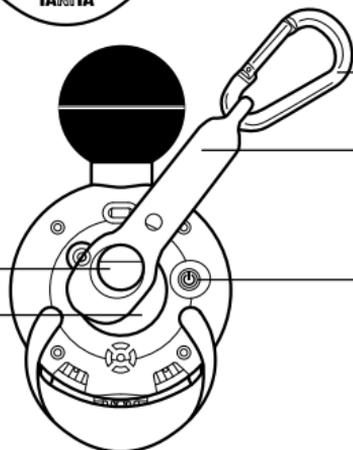
フック

電池フタ

カラビナ(付属品)

吊り下げ用
アタッチメント
(付属品)

ON/OFFキー



付属品

- 取扱説明書(本書:保証書付き)
- 吊り下げ用アタッチメント(ホワイト、ブルー各1本)
- カラビナ×1個
- ドライバー×1本
- お試用電池(コイン型リチウム電池CR2032×1個)
 - ・お試用電池のため1年以内に使用できなくなることがあります。
 - ※不足しているものがありましたら、お客様サービス相談室(本書P.8参照)までご連絡ください。

電池を入れる

- ① 付属のドライバーまたは市販の小型ドライバーを使って、電池フタのネジを時計と逆方向に回して、外します。

※ネジは電池フタからはずれません。

- ② 電池(CR2032)を「 \oplus 」側を上にして、矢印の方向から先に入れる

※電池挿入後、ピー音と同時に表示画面は、電源ON状態(WBGT、気温、湿度を表示)となります。

※電池を取り出すときは、付属のドライバーまたは細い棒などで取り出してください。

- ③ 電池フタのツメを本体の凹に合わせ電池フタを元の位置に取り付けネジを時計回りに締める

お願い

長期間(3ヶ月以上)で使用にならない場合、電池を取り出して保管してください。

アフターサービスについて

1、保証書について

保証書は、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2、修理を依頼されるとき

- ・保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡のうえ、本器に保証書を添えてお送りください。
- ・保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3、ご不明な点はお客様サービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 **タニタ**

本社・東京営業所 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2 ☎03(3558)8111(代表)

大阪営業所 〒577-0013 東大阪市長田中1-3-15 ☎06(6784)2811(代表)

名古屋営業所 〒465-0072 名古屋市名東区牧の原2-707 ☎052(704)2201(代表)

福岡営業所 〒812-0882 福岡市博多区麦野4-2-6 ☎092(575)5761(代表)

北日本営業所 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1 ☎0187(66)2144(代表)

ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先

フリー
ダイヤル



0120-133821

受付時間 / 9:00~18:00 (土・日・祝祭日は除く)

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

〈無料修理規定〉

- 1、取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 2、保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡の上、本器と保証書をお送りください。
 - 3、ご贈答品等で保証書に必要事項が記入されていない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
 - 4、保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - イ、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ、お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - 二、保証書の提示がない場合
 - ホ、保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 5、保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 6、保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

保証書

販売店様へ _____
 ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)をご記入のうえ、お客様にお渡しく下さい。

お客様へ _____
 本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報、修理完了品の発送にのみ使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき、責任を持って管理致します。

品名	熱中アラーム TT-560		
保証期間	本体 お買い上げ日より1年		
お買い上げ日	年	月	日
お客様様	ご住所 [〒]		
	お名前		様
	電話	()	
販売店	住所・氏名		(印)
	電話	()	

使い方.1 表示の見方

- ・電池挿入後、次の表示になります。
- ・4段階（「注意」「警戒」「嚴重警戒」「危険」）の熱中症予防指針を12のレベルバーで表示します。

WBGT

※測定範囲「20℃～50℃」、測定範囲外「LO/H」表示

気温

※外気温または室温

警戒レベル
(黄色ゾーン)

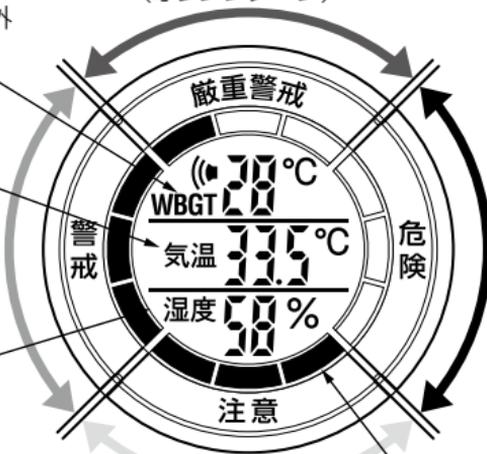
湿度
※相対湿度

嚴重警戒レベル
(オレンジゾーン)

危険レベル
(赤色ゾーン)

注意レベル
(青色ゾーン)

レベルバー



WBGTについて

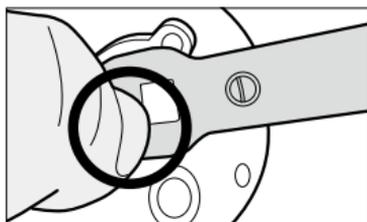
WBGTとは、暑さの厳しさの程度を示す暑熱指数であり、暑さ指数とも言われています。気温だけでなく、汗のかき方に関する湿度、日射・照り返しなどの輻射熱(ふくしゃねつ)を取り入れて計算される暑熱指数のことで、乾球温度(気温)、湿球温度(湿度に関係)と黒球温度(輻射熱)の値を使って計算します。単位は(℃)です。

屋外で日射の有る場合 $0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$

室内で日射のない場合 $0.7 \times \text{湿球温度} + 0.3 \times \text{黒球温度}$

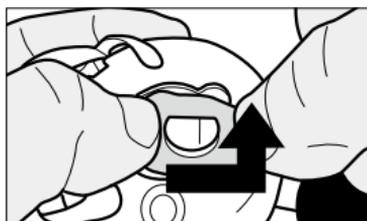
本器では、乾球温度はサーミスタで測定し、湿球温度は湿度センサーで測定した相対湿度と乾球温度より演算して求めています。黒球温度は直径33mmの黒球で測定した値より標準の直径150mmの黒球温度に換算しています。また、本器では、乾球温度(気温)と黒球温度の差を利用して「屋外で日射がある場合」または「室内で日射のない場合」を推定し、自動で判断してWBGTを表示しています。

使い方.2 吊り下げ用アタッチメントの取付方法

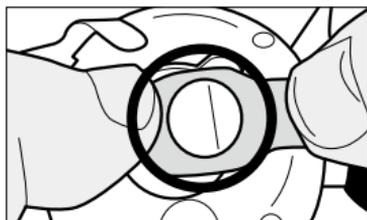


①吊り下げ用アタッチメントの四角い穴を電池フタのフックに合わせる。

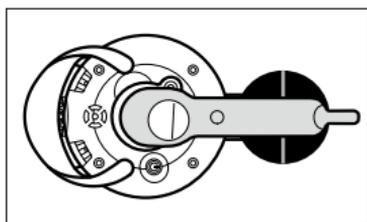
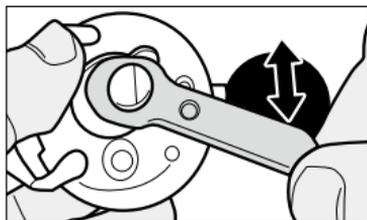
②左手親指で吊り下げ用アタッチメントの根元をしっかり抑える。



③右手で吊り下げ用アタッチメントを持って→方向に引きながらフックへはめ込む。



④完全にフックに入っているかを確認するために吊り下げ用アタッチメントを左右に動かしてから黒球の裏側に来る位置に合わせる。



⚠ 注意

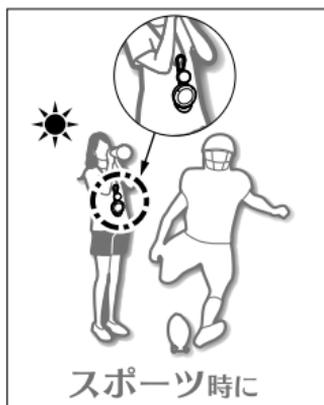
吊り下げ用アタッチメントを必要以上に引っ張らないでください。切れることがあります。また、怪我をしないようにご注意ください。

取り扱い上のご注意と使用方法

●取り扱い上のご注意

- ・電源を入れて表示値が安定するまで10分以上必要です。また、使用する高さは30cm～150cmの範囲で設計しています。それ以外の範囲では、WBGTの誤差が大きくなります。
- ・高温(気温50℃以上)になる場所(密封された車内など)、ストーブなどの暖房器具の近くでは使用しないでください。本器の使用温度範囲は0℃～50℃です。この範囲を超えて使用した場合は表示が見えなくなったり、故障の原因になります。
- ・防水ではありませんので、雨の日の使用、湿気の多い所での使用や水洗いをご遠慮ください。
また、ほこりの多い所でのご使用をご遠慮ください。水やほこりが入った場合は故障の原因となります。

●使用方法



1. 屋外での使用

- ・散歩や作業、スポーツ観戦など

ベビーカーやスポンのベルト通しなどにカラビナなどで吊り下げて、使うことができます。

注意1) 幼児が触らないところに付けてください。

注意2) 屋外では照り返しの影響がありますので、直接ベンチなどの上に置かないでください。

2. 屋内での使用

居間や寝室、子供部屋などで、フック等に吊り下げて使うことができます。

●熱中症予防指針と警告アラームの種類

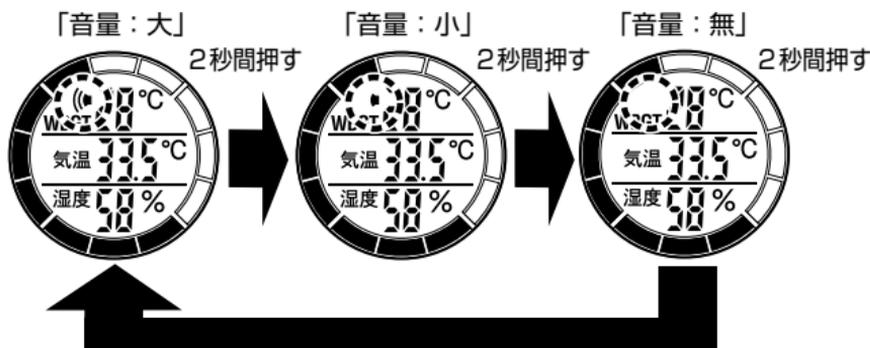
電源ON時より10分間隔で、その時の熱中症予防指針(4段階)の状態にあった警告アラームが鳴ります。

注意)熱中症予防指針(4段階)以外の範囲(WBGT:「LO」)では、警告アラームは鳴りません。

熱中予防指針	警告ブザーの種類
危険	「ピー」と4秒間連続音後2秒休止の繰り返しで約30秒間鳴ります。
嚴重警戒	「ピィピィ-----ピィ」約30秒間なります
警戒	「ピィピィピィピィ」×3回約3秒間鳴ります
注意	「ピィピィ」と約1秒間鳴ります

●警告アラームの音量切替方法

- ・音量は「大」「小」「無」の3段階で切替できます。
- ・音量切替キー()を約2秒間押すごとに切り替わります。



- ・警告アラームは音量切替キー()を押すと止まります。

- 「危険」レベルになると音量「小」または「無」の設定に関わらず、常に音量「大」で警告アラームが鳴ります。

注意)本器を温度が高くなる屋内や車内などに放置されると「危険」レベルになり、警告アラームが鳴り続ける場合があります。無人で放置される場合は、電源を「OFF」にしてください。(本書P.14参照)

●電源 OFF の方法

ON/OFFキー(⏻)を約2秒間押すと電源OFF表示になります。

(注意)電源OFFした場合、警告アラームは鳴らなくなります。



電源ONする場合は、ON/OFFキーを約2秒間押します。
⇒[on]を約1秒間表示後電源ON表示になります。

●電池を交換する

電池が消耗すると、表示画面に「~~電池~~」が表示されます。速やかに新しい電池(CR2032)と交換してください。

電池の交換は「電池を入れる」本書P.7を参照ください。

※電池交換後は、電源ONの状態(WBGT・気温・湿度表示)になります。

⚠警告

◆電池は乳幼児の手の届くところに置かない

→誤飲の恐れがあります。万一、電池を飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。真夜中など、お近くの医師に相談できない場合は、下記へ電話して指示を受けてください。



毒性等に関するお問い合わせ先

(財)日本中毒情報センター 中毒 110 番
(大阪)072-727-2499(24 時間対応)

※古い電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。

※使用済みリチウム電池を捨てる場合は、必ず端子(+/-)をセロハンテープなど粘着性の絶縁テープで覆ってください。

●測定範囲外の表示について

1) WBGTが測定範囲(20℃～50℃)を超えた場合、下記のようになります。

- ①20℃以下:「LO」を表示します。
- ②50℃以上:「HI」を表示します。

2) 気温が計測範囲(0℃～50℃)を超えた場合、下記のように表示します。



0℃以下の場合



50℃以上の場合

※気温が測定範囲を超えた場合、WBGTの表示は「LO」または「HI」になり、湿度の表示は「-」になります。

3) 湿度が測定範囲(20%～90%)を超えた場合、下記のように表示します。



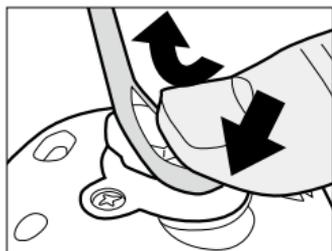
20%以下の場合



90%以上の場合

※湿度の表示が「LO」または「HI」でも、WBGTは表示されますが、「WBGT」の値は参考値としてください。

●吊り下げ用アタッチメントの交換方法



- ①吊り下げ用アタッチメントが付いている電池フタのフックを親指で抑え、吊り下げ用アタッチメントを上側(矢印方向)に引っ張って外す。
- ②吊り下げ用アタッチメントの取付方法は「使い方.2 吊り下げ用アタッチメントの取り付け方法」本書P.11を参照ください。

⚠注意

吊り下げ用アタッチメントを必要以上に引っ張らないでください。切れることがあります。また、怪我をしないようにご注意ください。

主な仕様

表示方式	LCD表示	
熱中症予防指針	4段階12レベル(「注意」「警戒」「嚴重警戒」「危険」)	
WBGT	表示内容	1℃単位
	測定範囲	20℃～50℃(測定範囲外 LO/Hi表示)
	精度	20℃～40℃ ±2℃ それ以外±3℃
気温	表示内容	0.1℃単位
	測定範囲	0.0℃～50.0℃ (測定範囲外 LO/Hi表示)
	精度	0.0℃～40.0℃ ±1℃ それ以外±2℃
湿度	表示内容	1%単位
	測定範囲	20%～90% (測定範囲外 LO/Hi表示)
	精度	35%～75% ±5% それ以外±10%
WBGT・気温・湿度測定間隔	30秒に1回	
使用温湿度範囲	気温	0℃～50℃
	湿度	20%～90%
警告アラーム	アラーム時間	最長約30秒 (各注意レベルで音質および時間が異なります)
	音量	3段階:75dB(大) 65dB(小) 無し
	電源	DC3.0V(CR2032電池×1個)
電池寿命	約3ヶ月(1日4時間使用時)	
本体寸法・質量	D36×W58×H108mm 約65g(電池、吊り下げ用アタッチメント、カラビナ含む)	
主な材質	黒球、本体：耐熱 ABS レンズ：PMMA センサーカバー：PP	
付属品	お試し用電池CR2032×1個、 吊り下げ用アタッチメント(ホワイト、ブルー各1本)、 カラビナ1個、ドライバー1本、 取扱説明書(本書保証書付き)	
生産国	中国	

こんな時は

☑マークが点灯した	電池が消耗しています。速やかに新しい電池(CR2032)と交換してください。 P.7とP.14参照
電池を入れたのに何も表示しない	電池の向きはあっていますか？ 電池の⊕⊖の向きをお確かめください。 P.7参照
	電池が消耗しています。速やかに新しい電池(CR2032)と交換してください。 P.7とP.14参照
警告アラーム音を消したい。または小さくしたい	「危険」レベル以外では、警告アラームを音量「小」または「無」に切り替えられます。 P.13参照
電源を消したい	ON/OFFキー2秒間押すと電源をOFFできます。 P.14参照
「LO」、「HI」「- -」などの表示がでた	測定範囲以外では、「LO」、「HI」、「- -」などの表示をします。P.15参照
表示される気温が高く感じる	身に付けた場合、吊り下げ位置によっては、体温の影響で周辺の気温より高く表示されることがあります。
電池の消耗が速い	お客様の使用環境条件により、警告アラームが鳴る回数が多い場合、電池寿命が短くなる場合があります。